

学校の沿革

(1) 創立

明治6年第一大学区第七中学区第五小学区志敬学舎(先生3名、児童33名)「志敬学舎」の名で、当時、久良岐郡根岸村字芝生の大聖院を仮校舎とする。

(「根岸学校」の名称は明治8年より、また、現在地への移転は、校舎新築をした明治14年5月11日で、この日を「開校記念日」としている。)

(2) 校舎および校庭の変遷

明治6年	久良岐郡根岸村字芝生の大聖院を仮校舎とする。明確な学区なし。
明治8年	校名が「根岸学校」となる。
明治14年5月11日	新校舎ができる。間口12間(18m)奥行き4間(7.2m) 木造平屋建て草葺き屋根建坪48坪(158.4 m ²)教室2、(先生3名、児童約50名)この日を「開校記念日」とする。
明治15年12月	学制改変、最初の学校は上等、下等の2階級だったが、初等、中等、高等の3階級となる。しかし、根岸学校は、初等、中等の2つ。
明治16年	創立10年。(大聖院住職 小松太伸など先生3名、児童215名)
明治21年6月19日	橋本敬治郎が初代校長となる。畑地を購入し、運動場を新設。
明治25年4月	校名が「根岸尋常小学校」となる。
明治26年	創立20年。校長 橋本啓治郎。(先生5名、児童215名)
明治28年1月10日	県知事から送られた台湾の楠の苗木3本を植える。 (現在そのうちの2本が残る。“くす太郎”・“くす次郎”)
明治30年3月7日	校舎増築、木造2階建て瓦葺き屋根、建坪31坪(102.3m ²) 二階2教室。廊下1教室と職員室。 高等科(4年制)を併置し、校名が「根岸尋常高等小学校」となる。
明治34年	横浜市に編入。(本牧村、根岸村を市に合併)
明治36年	創立30年。校長 橋本啓治郎。尋常科7学級、高等科3学級、当時この辺りでは石川と根岸にしか高等科がなかったため、森、杉田の方からも歩いて通学してきた児童もいた。先生13名、児童約558名。大村民蔵医師が根岸尋常高等小学校の嘱託となる。横浜市の校医としての始まり。
明治38年4月	高等科が廃止され、校名が「横浜市根岸尋常小学校」となる。
明治41年4月	小学校令が改正される。尋常科6年、高等科2年。
明治44年11月25日	東側に校舎改築、木造平屋建て草葺き屋根。
明治45年4月	再び高等科が併置され、「横浜市根岸尋常高等小学校」となる。
大正2年	創立40年。校長 橋本啓治郎。尋常科12学級、高等科3学級 (先生26名、児童1390名)
大正6年7月28日	野崎貞利氏、校舎6教室を新築して寄贈される。
大正7年4月	野崎氏、再び運動場換え地を寄付される。付属夜間部設置。
大正12年	創立50年。校長 橋本啓治郎。尋常科18学級、高等科3学級。 (先生26名、児童1390名)
大正12年9月1日	前11時58分44秒M7.9の大地震、関東大震災により、校舎の大部分が

	倒壊し、わずかに東側平屋校舎1棟8教室を残す。
大正13年10月	校長 橋本啓治郎 満40年奉職。震災の後始末も済んだので退職。
大正13年12月	校舎10教室新築。
昭和2年4月	倒壊を免れた東側校舎8教室を改築。
昭和2年9月	屋内体育場を大鳥小学校より移築。同時に今まで上下に分かれていた運動場を一つにする。
昭和3年4月	保護者の要望により、磯子小学校より原町を加える。また、滝頭小学校開校のため西根岸馬場町、上町は滝頭小学校区へ編入。
昭和4年3月	石黒保義が3代校長となる。付属夜間部閉鎖。
昭和6年5月5日	木村政広が4代校長となる。
昭和7年9月10日	海岸埋め立て地を2400坪を借り入れて、臨海運動場及び農園を開設する。
昭和8年4月	校名が、「神奈川県横浜市根岸尋常高等小学校」となる。
昭和8年11月26日	創立60年。校長 木村政広。尋常科18学級、高等科6学級。 (職員27名、児童1350名)創立60周年祝賀会を行う。
昭和14年9月	校舎改築工事に着手。海岸運動場に脱衣所を作り夏季水泳に利用。
昭和15年3月	土屋輝太郎が5代校長となる。
昭和16年9月	校舎改築工事が完成。屋内体育場、東側校舎を除いて改築。
昭和16年12月8日	(太平洋戦争が始まる。)
昭和17年4月1日	校名が「横浜市根岸国民学校」となる。(初等科6年、高等科2年)
昭和17年8月26日	柏 貞二が6代校長となる。
昭和19年4月5日	給食場(現位置)新築。
昭和19年8月15日	学童疎開実施(中郡南秦野)330名
昭和19年10月14日	滝頭国民学校に備品を移し、滝頭校の3階裁縫室を職員室として残留。 。児童の授業を開始する。
昭和20年7月12日	滝頭国民学校校舎より現在のところへ戻る。
昭和20年8月15日	(太平洋戦争が終わる。)
昭和20年10月29日	校長 柏 貞二 和歌山県にて病没。
昭和20年11月5日	疎開地より帰った児童の授業を始める。
昭和21年2月5日	中田仁平が7代校長となる。
昭和22年4月1日	学校教育法の実施により、横浜市立根岸小学校となる。
昭和22年5月1日	新しい学校制度の実施により、根岸中学校の校舎に当てられるため休校となり、磯子滝頭小学校に組み入れられる。
昭和22年8月	根岸小学校復興会が結成され、会長に大久保佐左衛門 になる。
昭和24年4月	根岸中学校PTA会長に大久保孝平氏、磯子小学校PTA会長に中田氏が再選され、根岸中学校校舎の新築と根岸小学校完全復興を目指す運動が開始される。
昭和24年7月	地元5千名以上の署名を持って教育委員会に陳情する。
昭和25年1月1日	横浜市立根岸小学校復活開校し、三宅信夫が8代校長となる。 復興後、学区は、中区根岸町3丁目、磯子区中根岸1・2・3丁目、原町、西根岸下町、坂下町、鳳町となる。なお、磯子区西根岸馬場町と上町は自由学区。
昭和25年3月	校舎、一部修理。

昭和25年8月	給食場改築。
昭和26年10月	根岸中学校新校舎ができ、本校は完全に独立する。
昭和28年11月	創立80周年記念式典と展覧会・音楽会を開く。
昭和30年2月	森 幸三が9代校長となる。 校舎外の修理と裏門移転の工事完了する。
昭和30年8月	防火の必要上2教室を取り壊す。
昭和32年	根岸湾埋め立てが始まる。
昭和33年5月	開校85周年記念として校歌を制定するため、歌詞を林柳波・作曲を井上武士両先生にお願いする。
昭和35年7月	志村重正が10代校長となる。
昭和37年12月27	用地258.85坪を教育委員会で買い取り、校庭と教材園に使用する。
昭和38年11月	創立90周年記念祝典が行われる。
昭和38年	教育委員会の「道徳」の研究指定校となる。昭和39年発表。
昭和40年4月	西側校舎の一部切断箇所にも用務員室を作る。
昭和41年5月	新講堂建設の為、校舎の一部と旧講堂の取り壊し完了する。
昭和41年7月	東側校舎8教室の取り壊し終了する。
昭和41年8月	東側と新校舎裏門付近のブロック塀工事完了する。
昭和41年9月	岩立 博が11代校長となる。
昭和44年1月	関根祐一氏より土地を買い取る。
昭和44年2月	文集「ねぎし」第1号発刊される。
昭和45年9月	鴨下俊雄が12代校長となる。第1校舎(16教室、土フール)完成。
昭和48年5月	創立百周年記念祝典が行われる。岩石園と百周年池が完成。
昭和49年	第3校舎完成。
昭和49年9月	佐久間文治郎が13代校長となる。
昭和49年11月	鉄筋の給食場ができる。 交通安全優良校として神奈川県教育委員会より表彰される。
昭和51年4月	横浜市民生局失業対策事業により、校庭南ブロック塀・花壇・植え込みなど整備される。
昭和51年8月	横浜市学校給食優良校として表彰される。
昭和51年9月	内田圀雄が14代校長となる。
昭和52年5月	正門前押しボタン式信号機設置される。
昭和52年11月	平和球場払い下げによる国旗掲揚塔が立てられる。
昭和53年5月	「くすのき池」譲渡式が行われる。(横浜市民生局失業対策事業)
昭和54年9月	鴨志田正儀が15代校長となる。
昭和55年4月	市教育委員会から、「合科」の研究協力校の指定を受ける。(昭和55年 発表)
昭和56年4月	駅前マンション建設に伴う校舎増築のため敷地造成工事完了。
昭和56年9月	根岸中学校の校庭で運動会が行われる。
昭和56年10月	全国社会科研究協議会神奈川・横浜大会の授業校の1校として社会科(合科的扱い)の授業を公開する。全国より約700名。
昭和57年3月	第4校舎が完成する。
昭和58年5月	創立百十周年記念式典が行われる。
昭和59年9月	輿石 桂が16代校長となる。

昭和61年3月	立正佼正会から土地を買い受け第2運動場の拡張及び整備を行う。
昭和61年4月	土屋 昭が17代校長となる。
昭和63年4月	宮崎 久が18代校長となる。
平成元年2月	「人権尊重教育」研究発表。
平成2年2月	「交通安全」の推進により上野初雄教育長に表彰される。
平成3年4月	井上洋三が19代校長となる。
平成4年4月	給食室改修工事完了。
平成4年12月	創立120周年バザー開催。
平成5年3月	第2校舎トイレ改修。「人権教育実践校」となる。
平成5年4月	創立120周年記念式典が行われる。(6月式典・祝賀会)
平成6年4月	佐々木孝が20代校長となる。「人権教育実践推進校」となる。(継続)
平成6年12月	第1校舎東側トイレ全階改修。
平成7年1月10日	校庭の2本の楠が樹齢100年となる。
平成7年2月17日	「くすの木祭り」に磯子区長、地域の方々参加する。 地域の方々の紹介で、横浜TVが取材、数回放送される。
平成7年4月	「親と子の体力作り教室」推進校となる。
平成7年8月	第3校舎と第2音楽室のPタイル張り替えをする。
平成7年11月11日	戦後50年「昭和20年根岸国民学校卒業証書授与式」が行われる。(磯子区長、教育長、地域の方々も参加。)
平成8年4月	横浜市社会福祉協議会活動協力校となる。
平成8年8月	第1校舎改修(耐震)工事。
平成8年11月	校庭整備工事(3ヶ月)スプリンクラーを外側から内側へ向けて放水する方式に改修。校庭土の全面入れ替え。鉄棒の移動設営をする。
平成9年4月	丸山隆司が21代校長となる。
平成9年4月	横浜市社会福祉協議会活動協力校を継続。
平成9年10月	4年生の集団宿泊体験活動が横浜TVで紹介、放送される。
平成10年4月	障害児教育学級「5組」を開設する。横浜市社会福祉協議会活動協力校を継続。
平成10年12月	横浜市防災備蓄庫を設置する。
平成11年4月	五十嵐亘が22代校長となる。横浜市社会福祉協議会活動協力校を継続。
平成11年11月	体育館改修・第3校舎トイレ改修・受水槽改修。
平成11年12月4日	PTAによる体育館改修記念コンサート実施。
平成12年4月1日	市ゆめはま教育プラン課題選択事業推進校(学校図書館)。
平成12年12月2日	PTAによる「くすのきコンサート」開催。
平成13年4月	花崎善子が23代校長となる。職員室に「流し」が設置される。
平成14年3月	飼育小屋が新しくできる。
平成14年8月	第1音楽室及び第3校舎内装改修工事完了。
平成14年10月～11月	全校舎外壁剥離防止工事。
平成14年11月9日	創立130周年記念バザー開催。
平成15年1月20日	田んぼ着工。(3月15日完成)
平成15年3月28日	体育館下特別教室(わくわく、クッキング、アート、競ルーム)改修工事完了。
平成15年4月	今井照三が24代校長となる。

平成15年6月14日	創立130周年記念式典及び祝賀会が開かれる。
平成16年3月1日	東側フェンス改修工事開始。
平成16年4月	学校評価システム研究モデル校となる。 第1学年少人数学級研究指定校となる。
平成16年8月	高置タンク改修工事。
平成17年4月	大塚秀子が25代校長となる。
平成17年8月	第1音楽室エアコン取り付け工事。
平成17年8月	正門・黒門改修工事。(防犯カメラ設置)
平成17年10月	男子トイレ小便器個別自動洗浄装置取り付け工事。
平成18年2月	PTA会議室アコーディオンカーテン取り付け工事。
平成18年2月	PTA会議室前シャッター取り付け工事。
平成18年3月	PTA会議室エアコン取り付け工事。
平成18年4月	教育課程開発実践推進校となる。 田んぼ改修工事。
平成18年4月	学校給食調理事業民間委託校となる。
平成18年11月	ネットデイ実施。校内LAN工事完成。
平成18年12月	正門に電気錠設置。
平成19年10月	給水管工事。上水道直結となる。
平成19年11月	白門・給食室側通用門防犯カメラ設置。
平成20年2月	職員室エアコン改修工事
平成20年7月	第3校舎耐震工事
平成20年8月	第1・3校舎壁塗装
平成21年4月	渡辺文彦が26代校長となる。
平成22年3月	大型テレビ教室設置
平成23年2月	各教室にインターホン設置
平成23年4月	村上英一が27代校長となる。
平成24年5月	全教室エアコン新設工事
平成25年4月	馬渡照代が28代校長となる。
平成26年6月	創立140周年記念式典が開かれる。
平成26年12月	学級増に伴い、第2音楽室を普通教室に改修する。
平成27年1月	3棟トイレ改修工事、体育館屋根工事。
平成27年7月	3棟屋上ペンキ塗り替え。
平成27年7月	1棟と3棟を結ぶ、外わたり廊下防水工事。
平成28年3月	鉄棒移設工事。